

## 「職業人と語ろう」ふり返り

☆神戸新聞東播支社 笠原さんの話を聞いて

6年 | 組名前 [ 井口 昂亮 ]

ぼくは、新聞記者さんの言葉でも大事なことを学びました。それは、見出しの文字数です。10文字以内で、ベストが8文字らしいです。なぜ8文字がいいのかも学びました。だけ、記者の仕事は毎日、取材ですごくいそがしそうな仕事だと思いました。みんなにも伝わるようにするために文章力が必要になるし、文章力がよくても、カメラも上手でないといけません。しかも、初めて会う人にもインタビューをしないといけません。なのにそれを毎日することはとても辛いことだと思いました。

## 「職業人と語ろう」ふり返り

☆神戸新聞東播支社 笠原さんの話を聞いて

6年 | 組名前 [ 三宅 陸工 ]

ぼくは、新聞のことだけでなく、将来仕事についての時も大事なことを教えてもらいました。新聞の見出しは、10文字が限度で、8文字が一番だと言っていました。10文字以上では文字が横長くて見づらいいっていたのが記事を見てよくわかった。取材をする時に大切なのは、準備と取材する場所や人を調べることで相手に合わせて話すことだと言っていました。やる事が莫大にいいけどその分やりがいがあるいいと思いました。

## 「職業人と語ろう」ふり返り

☆神戸新聞東播支社 笠原さんの話を聞いて

6年2組名前[ 藤森心杏 ]

笠原さんの話を聞いて、写真にも「おくら」というものがある  
と初めて知りました。取るときにもただただ写すばかり  
ではなく、はいけいや後ろの人達も取るという工夫が  
あるのを知りました。自分も写真を取る時は、編集っぽ  
く取りたいです。色々教えて下さりありがとうございました。

## 「職業人と語ろう」ふり返り

☆神戸新聞東播支社 笠原さんの話を聞いて

6年2組名前[ 秦 ゆい ]

私が一番印象に残ったところは、見出しの話です。  
8文字が良くて、10文字以上になるとスペースが決まら  
れているので字が平べたくなるということを知りました。他にも漢字や  
文字が多いほど読みにくくなるという理由があり、読者のこと  
を考えて書かれているなと思いました。取材でも相手に声の大きさを  
合わせるということが分かりました。  
貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。